
春に舞う桜のように

春蘭

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

春に舞う桜のように

【Nコード】

N7123B

【作者名】

春蘭

【あらすじ】

静かすぎる公園。うつ向いた貴方。南風が吹いて、桜が散る。

（前書き）

この作品は、テーマ小説「春」に参加したものです。

『春小説』で検索して頂きますと、他の作者様の作品も御覧になります。是非検索して下さい。

花びらと自分を重ねた
霞んだ景色
風がふたりを濡らす

* 春に舞う桜のように *

桜が舞う。

強すぎない陽射しに、爽やかな南風。とても穏やかな気持ちになる陽気だ。

平日のためか、人気の少ない公園。桜並木をぼんやりと見つめる。風に揺られては、花びらがさらわれていく。

私の座るベンチは少々固いけど、不思議と馴染んで、嫌な気はしない。

「本当にごめん」

ふと声が聞こえ、ゆっくりと隣を見る。彼がうつ向いていた。そういえば居たんだけ、なんて失礼な事を思ってしまう。

ごめん、と免罪符を繰り返す彼。なにに対しての謝罪なんだろう、なんて他人事のように思った。

彼は背中を丸め、怒られた子供のように縮こまっている。それが

なんだか可哀想で、目をそらした。

フワフワと散る桜の花びらが、私の視界を占めた。
ほら、こうすればとても清々しい気持ちになれる。嫌なものは見えない。今は隣を、貴方を見たくない。

「あの――」

「まあ、仕方ないよ。最近すれちがってたし」

なにか言いかけた彼の言葉を遮り、そっけなく言い放つ。戸惑ったのが雰囲気伝わったけれど、気づかないふりをした。

「でも、おれ本当にお前のこと」

「つまらないお世辞はいいから、早く行ったら？ 用はそれだけなんですよ」

我ながら可愛くないことを言えば、彼は黙りこむ。そつと一瞥すれば、うなだれた彼の瞳は伏せられていた。

ずしり、と鉛を落とされたかのように胸が重くなる。軋む痛みに、少し涙腺が緩んだ。それさえも、痛々しい。

風になびいて、自分の髪が顔を覆う。それが不快で、乱暴な手付きで髪を耳にかけた。

今日は本当に暖かい。なんにもこんな日にこんな話することないのに。無意識に眉間に皺が寄るのが分かった。

気持ちのよい涼風が、私の頬を撫でる。

相変わらず桜は散っていて、とても綺麗な景色なんだろうけど、その儚さが哀しい。

『春は、別れの季節』

誰かが言っていた。

それなら、彼と私の状況も頷ける。

「あの、じゃあおれ……」

かすれた声でこぼし、彼が立ちあがった。

まだ居たの、という目で見れば、寂しそくに彼は微笑む。その笑みが、何故か心をきゅっ、と狭くさせた。

だんだんと遠ざかる彼の背中。あんなにも愛しかったのに、なんで私は追い掛けようとしないんだ。

——がらじゃないからかもしれない。

思えば、こうなる結果は当たり前だった。

素直に好きの一言も言えない女を誰が愛しく思えるだろう。

傷つけたのも私。

不安にさせたのも私。

呼びとめれない。

……本当に、サヨナラ？

ぎゅっと握り拳をつくる。心地好いはずの陽気が、まとわりつくように鬱陶しかった。口唇が震え、声は吐息としてしか出ない。

彼が、離れていく。

振り返らない。

喉元に、こみあげてくる。

「私、私ちゃんとあんたのこと——嫌いじゃなかったから！」

ベンチを膝裏で蹴とばし、彼にむかつて叫んだ。

静かな公園で、私の声は余計に響く。

——こんなときでも、好きと言えないなんて。

意地っ張りな自分をここまで疎ましく感じた事はない。

ゆっくりと、遠く離れた彼が振り返る。その瞬間、強風が吹き、花吹雪が舞った。

最後に見せた彼の表情は、桜の花びらに隠された。ただ、微笑んだ気がする。

その桜吹雪さえも、涙で滲んでばやけてしまったのだけど。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7123b/>

春に舞う桜のように

2010年11月27日17時13分発行